

飛躍する

2023 年 テラデータ・コーポレーション 行動規範

目次

トップの姿勢:なぜ誠実であることが重要か

社長兼 CEO からメッセージ
論理・コンプライアンス・プライバシーのチーフオフィサーからのメッセージ

規範の支持

規範に従わなければならないのは誰か
行動規範への当社のコミットメント
倫理的な意思決定のために、規範を使用すること
ガイダンスを求めると、違反を報告すること
報復の禁止
マネジャーの特別な責任

一丸となって飛躍すること

多様性、公平性および一体性
差別の禁止とハラスメントの禁止
利害対立の回避
職場安全衛生
会社の資産の利用

一般の人々へのリーチアウト

正確な記録を残すこと
ソーシャルメッセージ、IT、ネットワークシステム
インサイダー取引
外部企業とのコミュニケーション
政治的な貢献と慈善活動

当社のコミットメントを高く掲げること

贈収賄・汚職に対するゼロ・トレランス(完全非容認)
輸出・輸入コンプライアンス
贈り物と接待
環境安全衛生コンプライアンス
社会的責任

イノベーションの追求

機密情報
第三者知的財産権
テラデータ認定プロフェSSIONALプログラム
データ保護

業界のトップにのぼること

公正に競う
業界団体や展示会に参加する
顧客と公正な関係を保つ
市場支配力を乱用しない
ビジネス・インテリジェンス

倫理・コンプライアンスの連絡先およびリソース

テラデータでは、データの力を活用してビジネスの仕組みと人々の生活を変革し、お客様と世界が更に発展を遂げることを実現します。テラデータ行動規範(Code of Conduct)は、行動基準をまとめたものであり、テラデータ・ピープル(テラデータ関係者)およびチームの全員に要求される、行動規範の基準であり、私たちが飛躍させてくれるものです。この規範は、私たちの仕事に関係する法的あるいは倫理的な責任に対応する方法を理解するのに役立つものです。また、テラデータが誰もが従うことのできる明確で一貫したルールを実現するのに役立つものでもあります。

規範はごく一般的な概要にすぎません。数多くのポリシーが、規範に限らずテラデータの広報ならどこでも参照できます。これらのポリシーでは、要求事項がより詳しく定められています。違反の疑いのあるものの報告についても説明しています。行動を取る前に、ぜひ質問をして、当社の規範やポリシー、法的要件に従うことに関する明白な回答を得るようにしてください。行動規範は、顧客と市場を重視した企業であること、実行における敏捷性、お互いへの説明責任という当社の基本原則に沿って適用する必要があります。

当社の**規範は全テラデータ・ピープルおよび組織に国際的に適用されます**。当文書では、「テラデータ」はテラデータ・コーポレーションおよびそのすべての世界中の子会社、関連会社、企業組織、チーム、業務を指します。テラデータの「社員」とは、テラデータの従業員、契約社員、下請業者、派遣社員、代理業者、代表者、役員、取締役をすべて含みます。

テラデータの「ビジネスパートナー」とは、テラデータのサプライヤー、ベンダー、再販業者、流通業者、提携先、サービスプロバイダー、その他のテラデータが共に事業を行っているあるいは行う予定の第三者をすべて含みます。テラデータ・「ピープル」とは、世界中のテラデータのすべての「社員」およびテラデータのすべての「ビジネスパートナー」のことです。

違反の報告または倫理的あるいはコンプライアンス問題の提起については**テラデータ倫理ヘルプライン** (1-866-455-0993)に電話、または以下の URL を参照してください。 www.integrity-helpline.com/tdhelp.jsp

トップの姿勢:なぜ誠実であることが重要か

倫理とコンプライアンスはテラデータの最優先事項である

テラデータは、全社を挙げて変化のペースを加速し続け、私たちのミッションを現実化し、ビジネスでの仕事のあり方や人々の暮らしを、データの力で変革していきます。

私たちが戦略に反して実行し、組織全体を改善していく中で、倫理、コンプライアンス、信頼、誠実さに最上位の優先順位を置き続けなければなりません。

倫理とコンプライアンスへの取り組みを促進し、達成するために、私たちは行動規範を宣言し、伝えてきました。こうした原則や基準を指針とすることで、テラデータ・ピープルは、いかなるときにも正しいことを正しい方法で行うことができるし、そのように期待されています。私たちの規範を遵守することもまた、コミュニティや世界に対して意味のある貢献をすることへの、私たちのコミットメントの一部です。

私たちの行動規範は、すべての人が従うべき明確で一貫したルールを提供し、安全に、誠実に、合法的に業務を遂行することを可能にし、テラデータが素晴らしい仕事場であり続ける手助けとなります。強力な倫理はまた、私たちに競争力のある強みも提供してくれます。それは、お客様が私たちを信頼できるアドバイザーとして見てくれるための主な理由であり、私たちは、現在の従業員や将来の才能の選択を行う者なのです。

当社のリーダーシップチームは、世界で最も実効的なチームとなるべくテラデータの倫理・コンプライアンスプログラムに挑戦しました。テラデータのマネジャーおよびチームリーダーは、誠実さ、倫理、コンプライアンスなどに関して、正しい姿勢と手本となる行動を示さねばなりません。当社の高い基準を満たすため、個々人に説明責任がある状態を保ち、また、私たちはコンプライアンス違反に対して、迅速で決断力のあるアクションを取ります。

誠実であることは、テラデータの取締役会および上級管理職にとっても最優先事項です。私を含むテラデータの取締役会メンバー、役員、上級管理職は、従業員と同じ行動規範に基づいて責任を負い、同じ高い基準を求められています。行動規範に含まれる原則と価値観は、私たちの戦略と決定を導きます。会社のリーダーとして、私たちはさらに高い水準の説明責任が課せられています。

私は、当社のテラデータチームが、全力を挙げて、この高い基準の誠実さを維持することを信じてよいことがわかっています。当社チームの過去のパフォーマンスは、テラデータが、何年にもわたって連続して、「世界一倫理的な企業」賞を受賞することを可能にしてきました。私たちは私たちの会社を変革しており、私はチームメンバー、パートナーおよびサプライヤーのコミュニティのおひとりひとりに、行為規範をあなたがテラデータに関連して行うことのすべてで遵守することに対する、個人的なコミットメントをする方法について、熟考いただくようにお願いします。倫理的な判断をする際には、行動規範を参考にしてください。お読みになって、自分の仕事にどのように適用されるかを理解し、頻繁に参照してください。

倫理およびコンプライアンスが、私たちのアイデンティティや私たちがテラデータで何をするかの、基盤であり続けるようにすることに、あなたも参加して下さることがわかっています。

Steve McMillan
社長兼 CEO
テラデータ・コーポレーション

誠実さ、倫理、コンプライアンスは、テラデータの全員の仕事のカギとなる。

テラデータの倫理・コンプライアンス・プライバシーのチーフオフィサーを担当させていただき光栄です。私はテラデータがこれまで「世界で最も倫理的な企業」アワードを複数年連続で受賞しており、その他にも高い倫理と誠実さを誇る企業であるとして賞を受賞してきたことをうれしく思います。

テラデータの倫理・コンプライアンスオフィスは、継続的に会社の論理・コンプライアンス・プライバシープログラムを強化し、テラデータが倫理的で条例を遵守する企業であるという指標を示すデータを記録および報告するように努めています。

しかし、目指すゴールに到達するために欠かせないのは、テラデータのひとりひとりの社員やテラデータのチームが実行して生み出す結果であり、将来に向けて常に上を目指して努力しなければなりません。ちょっとした気の緩みがこれまで達成してきたものや将来的に達成されるものを危うくしてしまうことを忘れないでください。

私と倫理・コンプライアンスオフィスは、当社の論理・コンプライアンス・プライバシープログラムや成果を継続的に改善していくことを約束し、またテラデータのすべての社員に同様のお願いをいたします。

テラデータを素晴らしい会社、優れた職場にしてください、「世界で最も倫理的な企業」の一社となるべく協力して下さっている皆さんに感謝いたします。

Jonathan Steel
倫理・コンプライアンス執行役員
Teradata Corporation

規範の支持

当社の行動規範は、テラデータが社員、パートナー、そしてより幅広いチームに期待するものを示しています。私たちは、正しい行いをすることを信頼されています。私たちは、行動する前に質問をし答えを得ることによって、そして不正行為に対して立ち向かうことによって、信頼を得ます。スマートで正しい形で事業を行う、顧客献身型の情熱的な企業であるという、会社の評判を守ることによって、信頼を得るのです。そして信頼を得ることで、私たちは、当社と、当社の株主、ビジネスパートナー、コミュニティー、顧客にとって明るい未来を構築し続けるのです。

もし何か为正しくないように感じるとき、正しくないように思えるとき、正しくないように見えるとき、正しくないように聞こえるとき、私たちは質問をせねばなりません。もし当社の規範とポリシーが懸念にはっきりと対処していないときには、別のソースで指針を探さねばなりません。私たちは正しい行いをすることで、継続的に信頼を得て、それを確かなものにしていかねばなりません。

規範に従わなければならないのは誰か

テラデータ規範は世界中の全テラデータチームに適用されます。私たちはまた、当社のビジネスパートナーにも、テラデータと関わる事業活動を行う際には必ず当社の行動基準を遵守してもらいたいと考えています。

テラデータの子会社、関連会社、企業組織、業務、チームは、当社の規範を補完する付加的な規範の実施を定めてもよいものとします。補完的な規範があなたに適用される場合、常に厳しいほうの規範に従ってください。そうすれば当社の規範とチーム（あるいはあなたの役割における）特定の基準の両方を遵守することになります。

当社の規範を日常生活に組み込むことで、当社が正しい形で事業を行うことを確実にすることになります。当社の規範に従って成立する原則や基準に反して行動する者は誰でも、地域の条例に従って、解雇を含むそれ以下の懲戒の対象となります。

行動規範への当社のコミットメント

- 私たちは倫理的に行動し、行動規範とポリシーに従います。
- 私たちはガイダンスを求め、懸念と違反を報告します。

- 私たちはすべての人に敬意を持って接します。
- 私たちは法を遵守します。
- 私たちは公正な競争を行います。
- 私たちは利害の対立を回避します。
- 私たちは資産を保護します。
- 私たちはデータと個人情報を保護します。
- 私たちは正確な記録を残します。
- 私たちは常に当社の行動規範とポリシーを適用します。
- 私たちは誠意を持って懸念を表明した者に対する報復を禁止します。
- 私たちは、常に正しい行いをいたします。

倫理的な意思決定のために、規範を使用すること

当社の行動規範が、テラデータが事業をどのように実施するかという基準を作ります。しかしながら、当社の規範とポリシーは、倫理的な行為のためのガイドでしかありません。すべての起こりうる状況やテラデータの人員が直面するかもしれない問題のひとつひとつを網羅することはできません。もしあなたが正しい行いについて迷いがある場合には、質問しなくてはなりません。まずはマネジャーに質問し、それから適切なテラデータ内の SME に連絡します。何が正しいか迷うときには、行動を起こす前に答えを得よう、倫理が私たちを動かしてくれるのです。

特殊な場合には、当社の規範あるいはポリシーを個人的な状況により適用しないあるいは変更することが適切になることが考えられます。あるひとつの事柄を行うことが違反となるが、別の事柄を行う（あるいは何もしない）ことも違反となる、もしくは規定が作成されたのちに法的条件が変更になったということもありえます。あなたがもしそういった倫理的ジレンマあるいは葛藤が起きたと感じるような状況に遭遇した場合は、即座にマネジャーに問題提起し、マネジャーはテラデータ内の適切な責任者に報告する必要があります。あなたたちの中に、いったい誰に質問をすればよいのかと迷う人がいれば、テラデータの倫理・コンプライアンスオフィスに報告してください。重要なのは、もしそういったジレンマや迷いに直面した時には、行動する前に指示を受けるということです。

当社のポリシーに明確に規定されている許可された逸脱を除き、行動規範およびポリシーの免除にはすべてテラデータの法務部によって前もって記述された承認が必要となります。テラデータの役員あるいは取締役会メンバーにより、テラデータの役員会による監査委員会のみが、非常に特殊な状況に限り、また適切な情報公開と透明性に関する要件に従った場合のみ、当社の規範の遵守を撤回することができます。私たちは、同じ行動基準を全員に適用しています。

また、企業の役員や取締役会メンバーに関してはさらに高い水準や期待を持っています。

ガイダンスを求めると、違反を報告すること

当社の規範に違反することは重大な問題であり、当社の取引関係や評判を著しく傷つける恐れがあります。疑問や懸念がある場合、あるいは当社の規範やポリシーあるいは法律に違反しているかもしれないという行動に気が付いた場合には、あなたには率直に話す義務があります。誠意をもって懸念を報告すること（すなわち起こりうる問題について正直で徹底的な説明をするということ）は、テラデータが職場の問題が深刻化する前に回避または解決するのに役立ちます。

法的あるいは倫理的違反を疑った場合には、以下のいずれかの担当者へ知らせてください。

- 直属のマネジャー
- 上位レベルのマネジャー
- あなたのテラデータの人事責任者
- テラデータ倫理・コンプライアンスオフィス(メールアドレスは E&C@Teradata.com)
- テラデータ倫理ヘルプライン(オンラインアドレス: www.integrity-helpline.com/tdhelp.jsp、電話: 1-866-455-0993) テラデータ倫理ヘルプラインの電話番号はほとんどのテラデータ社員 ID バッジに印刷されているため、いつでもご覧いただけます。テラデータ倫理ヘルプラインでは、法律で認められている場合、匿名での報告が可能です。
- テラデータの法務部の一員
- 問題となっている分野の、テラデータ内容領域専門家チームのメンバー(例えば、疑われる盗難問題についての会社のセキュリティ、疑われる不正経理についての内部監査)

無記名での報告も選択できますが、その場合はあなたの懸念事項の具体的な詳細を追及するのが難しくなるかもしれません。国によっては、地域の条例があなたに身元確認を要求する場合があります。あなたの報告がどちらに当てはまるかは倫理・コンプライアンスオフィスあるいは倫理ヘルプラインがお知らせします。私たちは上記の担当者に連絡する際には名乗るようお勧めします。そうすればテラデータが問題調査を徹底的に行えるからです。もしあなたが名前を告げるか直接出向く場合には、テラデータは、あなたの名前の共有は必要最低限に抑えるなど、あなたの身元を守るため、適用される法律が許す限り最大限の処置を取ります。

テラデータは、不正に関する全報告について分析および調査をし、違反が見つかった際には適切な行動を起こします。これには違反を犯した者に対する解雇あるいは契約解除を含むそれ以下の懲戒が含まれる場合があります。

調査において助力を求められた場合には、すべての質問に正直に答え、完全に協力しなければなりません。倫理的あるいは法的違反に対する虚言、隠ぺい、ごまかしは、当社規範を著しく違反することになり、解雇につながる可能性があります。

ここに列挙したどの担当者へもあなたの懸念を報告したくない場合には、文書をテラデータの国際本部の会社秘書役に渡すことにより、テラデータの取締役会による監査委員会に直接報告することもできます。Audit Committee of the Board of Directors, Teradata Corporation, Attention: Corporate Secretary, 17095 Via Del Campo, San Diego, California (USA) 92127

報復の禁止

全テラデータ・ピープルは、自分の職やテラデータとの仕事上の関係がマイナスの影響を受けることを恐れず、法律、当社の規範、テラデータのポリシーに関する違反の疑いを報告する権限があると感じている必要があります。テラデータは、倫理やコンプライアンスの調査や監査に参加する者と同様に、誠意をもって、疑問、懸念の表明、あるいは報告を行う者に対するいかなる形の報復も厳しく禁じています。

誠意とは、正しくないとならないという意味ではなく、あなたが持ち、真実であると信じる情報のすべてを提供するという意味です。悪意とは、誰か他の者を標的にしたり、報復したりする意図でよく行われるもので、間違っていると分かったうえで情報を提供することです。当社は、報復を容認しないのと同様に、間違っていると分かっているのに悪意で提出された情報も容認しません。

マネジャーの特別な責任

他の人々を監督するテラデータの社員は追加的な義務や責任を負っています。マネジャーは自らの言葉をもって、決定、行動、高い水準の誠実さに対する個人的なコミットメントを表さねばなりません。テラデータのマネジャーとして、あなたには以下のことが求められています。

- 規範およびテラデータのポリシーを常に遵守することによって、自ら実例を示す
- 話し合い、コミュニケーション、トレーニングにより、あなたのチームの社員とあなたのビジネスパートナーが当社の規範と関連するポリシーを確実に理解しているようにする
- あなたのチームの社員をより大きな責任のあるポジションに昇進させる前に、彼らが当社の規範に従っており、テラデータの基本原則を体現しているかどうかよく考える
- 行動や行為において良い手本となる社員を見分け、報いる
- あなたのチームあるいは職場で不正が起きないように気を配り、必要となればテラデータの倫理・コンプライアンスオフィスに報告する
- テラデータ・ピープルが倫理、コンプライアンス、ポリシーに関する疑問や懸念を表明しやすいような環境を作る
- 誠意をもって懸念を表明した者に対して決して処罰を与えたり認めたりしてはならない

マネジャーが違反に気付いていながら、あるいは気付いていたはずなのにそれに対応あるいは報告しない場合には、懲戒の対象となります。テラデータのマネジャーとして、あなたには誠実であることがテラデータにおける最優先事項だという姿勢を示す義務があるということを覚えておいてください。

一丸となって飛躍すること

私たちは、すべての社員、顧客、ビジネスパートナーに対する尊敬を促進する労働環境をテラデータで提供したいと考えています。それは私たちが事業を進めるコミュニティの多様性を含め、反映するものです。私たちは、差別、ハラスメント、報復に対するポリシーでこの約束を指示します。また、反人種差別企業としての立場を表明し、組織内で不用意に人種差別やその他の不平等を永続させるようなシステム、価値観、行動、プロセスを消滅させることを支持しています。

多様性、公平性および一体性

グローバルな企業として、テラデータは人々（そして彼らの持つ文化、考え方、教育、背景）の多様性が革新を後押しし、顧客に届ける製品やサービスを強化することを理解しています。安全で、協力的で、一体的な環境を構築することで、テラデータにいるすべての人が自分の可能性を最大限に発揮することができます。

テラデータは事業を行う国の法令を遵守します。しかしながら、当社の多様性、公平性、および一体性への傾倒は法の遵守をも超えて強まっています。テラデータは異なる文化や考え方が高く評価され、支持され、奨励される職場の構築に努めています。テラデータは、自社のポリシー、システム、および労働条件を定期的に調査し、機会均等と一体的な行動を徹底しています。また、テラデータは、文化、一体的なリーダーシップ、偏見の管理、すべての人への公平な待遇などに関する学習機会をすべての従業員に提供しています。テラデータのインクルージョン委員会(Inclusion Committees)は、さまざまなバックグラウンドを持つ従業員のネットワーク作りやメンタリングをサポートします。また、テラデータは、多様性を受け入れている企業を特定し、そこから供給することで、サプライヤーの多様性を調達プロセスに組み込むことを目指しています。私たちの仕事はまだ終わっていません。テラデータは、この分野での継続的な成長と成果を約束します。

多様性、公平性、および包括性に対する私たちの誓い

- 私たちは、全従業員に対して、不寛容な行為、不当な扱い、無礼な行為、意識的または無意識的な偏見を受けたり目撃したりしたときには、声を上げるように奨励します。
- 私たちは、「私たちのとる行動や発する言葉に、「包括性」が反映されているか」自問します。
- 私たちは、意味があり、複雑で、時には難しい会話を同僚と交わします。
- 私たちは、全従業員のための包括的な環境を醸成できるように取り組みます。私たちは、私たちと異なる見解も無視せず、私たちと異なる視点やコミュニケーションのスタイルを尊重します。
- 私たちが行動をとったり言葉を発するときは、包括性または私たちの包括性への誓いを必ず反映させます。
- 私たちは、全従業員に、自分たちの快適なゾーンから抜け出し、他者の経験や視点について学ぶように促します。

Teradataは、人種差別を受け入れない企業ですさらに、私たちは人種差別を許容しません。体系的な人種差別を永続させるあらゆるシステム、価値観、行動、組織的プロセスを特定し撲滅します。これを実現するために、以下を実施します。

- 人種差別を許容しない企業文化の定着に向け積極的に取り組みます。
- 人種差別を認識し向き合い、差別を受けた従業員にはサポートを提供します。
- 反人種差別に向けた行動や取り組みに対する全従業員の責任を含めた、多様性、公平性、包括性の重要性について継続的に学んでいきます。

これらの行為や行動を心がけることで、私たちは、全従業員が一体となって、従業員が安心して働ける、差別や人種差別のない環境作りに取り組みます。

差別の禁止とハラスメントの禁止

テラデータでは、差別やハラスメントのない職場の実現に真摯に取り組んでいます。私たちは、人種差別を含むあらゆる形態の差別と戦い、これを廃除することを約束します。人種差別とは、直接的または間接的に、特定の人種または民族グループの一員であることを理由に、個人を疎外し、排除し、差別する行為、行動、または言葉と定義されます。

テラデータは雇用関連の意思決定あるいはビジネスパートナーの選定の意思決定を含むあらゆる意思決定における不法差別を禁じています。当社では、採用、選択、業績評価、昇進は実績に基づいて行います。人種、肌の色、宗教、出身国、性、年齢、障害、性指向、妊娠、性同一性、性表現、配偶関係、軍事または退役軍人、その他の法的に保護された特性などによる、守られるべき性質に基づいた差別は決して行いません。私たちは、これらの守られるべき性質またはその他の守られるべき性質に基づく差別につながる行為を容認しません。また、意図しない、あるいは不注意な差別につながる可能性のある慣行や手続きを排除することにも取り組んでいます。

互いに尊敬し合うには、職場環境からあらゆる形の不法なハラスメントが撤廃されることも必要です。ハラスメントとは、守られるべき性質に基づいて、他の人に対して望ましくない、または攻撃的な行為を行うことです。(1) そうした行為に屈服することはいずれも、明示的および暗黙的な雇用条件とある、または、雇用の決定のための基盤として使用される。あるいは、(2) 行為は、あまりに深刻であったり、また広がっているため、それが威圧的で、敵意に満ちた、あるいは攻撃的な職場環境を形成している。ハラスメントは、セクシャルにもノンセクシャルにもなりうるものです。セクシャルハラスメントは迷惑な性的アプローチ、性的接待の要求、肉体的または言葉のみによるその他の性的な性質の行為、および性的な性質を持つ職場での行動を含みます。

どのような形であれ、ハラスメントは人の仕事の能率を邪魔したり、あるいは雇用機会に悪影響を及ぼしたりするものです。テラデータは、会社の敷地内で起きたか、会社から離れたところ、あるいは業務時間後に発生するイベント(休日に実施したパーティー、チームをまとめるためのイベント、祝い事、ビジネスカンファレンス、出張、社内のコミュニケーションツールや社内外のオンラインソーシャルメディアプラットフォーム)で発生したかに関わらず、ハラスメントを容認しません。

テラデータでは、人種差別やセクシャルハラスメントなど、職場における差別やハラスメントの可能性に関する報告や懸念を非常に深刻に受け止めています。差別やハラスメントを経験していると思われる場合、あるいは差別やハラスメントに対する当社の方針に違反する状況に気づいた場合は、当社の規範に概説してある報告手法を利用して、即座に報告してください。不正行為の可能性に関する苦情を受けた管理者や、ハラスメントや差別の可能性を目撃した管理者は、その苦情や不正行為を直ちにテラデータの人事部またはテラデータ倫理・コンプライアンスオフィスに報告し、調査を実施して適切な是正措置を講じられるようにする必要があります。テラデータは、懸念事項が深刻な問題になる前に、早期に発見し、調査し、解決する機会があることを望んでいます。テラデータは、合理的な信念に基づいて誠意をもって差別またはハラスメントに関する報告を行う者に対する報復を厳しく禁じています。

セクシャルハラスメントへの警戒

性的行為、性的魅力、性的関心、性同一性、性別、年齢、人種、出身国、宗教、障害、その他法的に守られるべき人間の部分に関する、攻撃的、不適切、屈辱的、または不愉快なコメント、冗談やイメージで、職場につながるもの(会社のリソースを利用した電子メールその他の電子的コミュニケーションを含む)は禁止されています。

人種差別に対するゼロ・トレランス

人種差別的な冗談を言ったり、人種を表す言葉を使ったり、特定の民族グループが他のグループよりも本質的に優れているという考えを反映した行動を示したり、人種的なプロファイリングを行ったりすることは、テラデータが禁止する行動の例です。

利害対立の回避

私たちは皆、テラデータの成功に献身しています。利害の対立は、私たちの成功を妨げます。対立は、私たちの個人的な、家族の、あるいは経済的な利益が、テラデータにとって最大限の利益となるよう客観的な職務決定を下す能力を妨げるとき(あるいは単に妨げるように思われたときですら)に現れる場合があります。私たちは皆、テラデータへの忠誠と外部の利益との間で引き裂かれる思いをするような状況は避けねばなりません。

以下によくある対立状況の例を挙げます。もしあなたに実際に利害の対立がある、もしくは将来的にそうなりそうだと思う場合、即座に直属のマネジャーに打ち明けてください。個々の対立状況の可能性自体は規範違反のレベルには至らないかもしれませんが、対立の報告を怠ることは、違反に当たる可能性があります。

家族や友人とのビジネスを行うこと

利害の対立は、あなた(あるいはあなたの配偶、親戚、親しい友人)がある企業と個人的な利害関係にあり、その企業がテラデータに品物やサービスを供給しているあるいは供給したいと思っている場合、またはその企業がテラデータの顧客あるいは潜在顧客である場合、またはテラデータの競合企業である場合に生じる可能性があります。そのような状況にあると気付いた場合、あなたはその企業を含む選定プロセスや入札プロセス、交渉の決定に自分の立場を利用してはなりません。業者の選定に直接関わっていて、業者や潜在的な業者を含むときは、マネジャーに即座に伝え、あなたを決定プロセスから除いてもらわねばなりません。あなたが関係を持つ業者が選定された場合には、提供された品物やサービスの品質を評価する際にも関わらないようにしてください。

競合企業に親戚や親しい友人がいる場合は、マネジャーにその旨を伝え、テラデータの機密情報や情報システムにアクセスを許すことを防ぐため、また当社の競合・独占禁止法の遵守やインサイダー取引規範の規定やポリシーによって保護されている事柄が彼らに伝わることを防ぐため、特別な予防措置を取ってください。

販売側の代表者と購入側の代表者との間の恋愛関係もまた利害対立の問題を生じさせるので、それぞれの企業と関連する取引が完了する前に開示し対処せねばなりません。

家族の雇用に関するテラデータのポリシー(「Corporate Management Policy (「CMP」) 201)では、一般的に家族や恋愛関係にある者を雇用、管理、あるいは監督することを禁じています。そういった対立を抱えている場合、あるいは対立に気が付いた場合は、関与するふたりの間の雇用、管理あるいは監督関係を変更または何らかの形で対処できるよう、即座に直属のマネジャーとテラデータの人事担当者に報告しなければなりません。

副業と投資

テラデータ以外で雇用されること、あるいはテラデータの競合企業と重要な利害関係を有することも、テラデータの社員に利害対立をもたらす可能性があります。テラデータのフルタイムの従業員である場合、テラデータにおける適切な職務遂行を妨げるテラデータ以外の仕事をしてはなりません。このことは、あなたのテラデータの勤務時間内に外部の仕事をする、あるいはテラデータの資産、設備、ネットワーク、情報、その他のリソースをテラデータの仕事以外の用途に利用することを含みます。また、他の営利目的企業あるいは株式公開企業の取締役会に就任することも、利害対立の問題を引き起こす恐れがあります。テラデータの社員はそうした役割への打診があった時や競合他社の主要な株式を保有することに関する質問を必ずマネジャーやテラデータの法務部に報告してください。私たちはそのポジションの範囲、期待されること、要求されること、および意図する株式保有の範囲について話し合い、一般的な方法で状況に対応することができます。

企業の機会

状況によっては、テラデータでのあなたのポジションを通して、テラデータにとって関心のあるような買い付けや投資の機会に気が付くことがあるかもしれません。あなたはテラデータがその機会を評価できるようにするため、その機会をマネジャーに即座に報告せねばなりません。テラデータがその機会を追及しないことに決めた場合には、今度は自分のためにあなたが行動を起こしたり第三者に話をしたりする前に、マネジャーとテラデータの倫理・コンプライアンスオフィスに書面による承認を請求し、これをもらわねばなりません。

利害対立の扱い

テラデータは利害対立が悪意のないところからも生じ、何の兆候もなかったところに対立あるいは利害対立のように見えるものを生む状況の変化が生じうるということを認識しています。

この件に関して頭に留め置くべき重要なことは、潜在的な利害対立に気が付いた時点ですぐにマネジャーにそれを開示しなければならないということです。テラデータの人事部、法務部やテラデータの倫理・コンプライアンスオフィスに所属するマネジャーは、解決に向け何を成すべきかの判断を行うか、潜在的な利害の対立が現実のものにならないように、あなたが適切な予防策を講じるという約束を実行するための許可を与えます。

利害の対立ガイダンス

質問:あなたの叔父はある種のサービスを提供する会社を所有・経営しており、同じ種のサービスのマーケットにテラデータが関わっていることにあなたは気づきました。その種のサービスをあなたの叔父の会社に調達しているテラデータの担当者にこの話をすることはできますか？

解答:できます。しかし当社の利害の対立ポリシーの元では、その話をする際はあなたと叔父の関係を開示せねばなりません。また、あなたはそのサービスの供給者を選定したり、あなたの叔父の会社からサービスが調達されている場合はそのサービスを交渉、実施、管理したり、サービスのクオリティーを評価したり、あなたの叔父の会社への支払いを承認したりするための意思決定プロセスには関与してはなりません。開示性や透明性、そして関連する意思決定や管理、支払いなどの流れから身を引くことが、こうした状況下でも規範に遵守したままであるためには重要です。

職場安全衛生

テラデータは社員やビジネスパートナーひとりひとりに安全で衛生的な労働環境を提供するよう努めています。適切な衛生、安全、環境保護のための対策を取らずに行う活動はひとつもありません。

テラデータはまた、薬物のない職場づくりにもコミットしています。これは、私たちは皆、職務を遂行する上で薬物やアルコールの影響を受けてはならないということです。会社の敷地内あるいは会社の職務中における違法薬物の利用、所持、流通、販売あるいは処方薬または合法薬物の不適切な利用や乱用は厳しく禁止されています。アルコールは、管理職が承認している、ある種の会社主催のイベントでは、節度を持って、しかし、そのイベントのガイドラインを守っている場合に限り消費される場合があるが、但しそれは、アルコールを摂取する関係者が、自分自身のアルコール摂取や、アルコール摂取に関連した行為について、完全に責任や説明責任を受け容れる場合に限り、また、法律的に合法でない間は、関係者が乗り物、自動車を操作しない場合に限りです。

職場における薬物やアルコール乱用に関する当社ポリシーの違反は容認されません。テラデータは薬物やアルコールの乱用あるいは中毒と闘う社員を支援するための社員支援プログラムを実施しています。該当する社員はぜひこのプログラムを利用してください。これらのサービスに関する情報は、テラデータ従業員支援プログラムで入手可能です。

テラデータの社員は互いに敬意と礼儀をもって接することが求められています。テラデータは暴力行為あるいは脅しを容認しません。実際の暴力行為や脅しを職場で見かけた場合は、マネジャー、ファシリティ・マネジャー、人事の担当者に即座に報告してください。

会社の資産の利用

テラデータの資産(情報、施設、ネットワーク、設備、材料、財産、技術、評判など)は、私たちのチーム全体による激務、功績、献身によって得られたものです。私たち全員がテラデータの成功の継続に関心があり、私たち全員がその成功に責任を負っています。私たちは自分たちの資産および関連データと個人情報とを窃盗、損害、損失、誤用から守り、それがテラデータやテラデータが承認した目的のみにしか使われないようにせねばなりません。

テラデータは、当社の社員がテラデータの資産のわずかな部分を時に個人的に利用するのを承認します。しかしながら、個人的な目的のためのテラデータの時間、資産、あるいは資源の習慣的あるいは大規模な利用は認めません。個人的に、あるいはテラデータが承認していないコミュニティのため、または慈善目的でテラデータの資源を利用する際、最小限の規模を超える場合にはマネジャーによる事前承認を受けねばなりません。

テラデータの資産を個人的に利用してよい金額、種別、または内容が適切かどうか迷いがある場合は、マネジャーと話し合い、事前に承認を取ってください。許可を得るまでは、そうした目的でテラデータの資産を利用することは控えてください。

テラデータの規範は、テラデータの資産の業務上の利用、許可を受けた個人的な利用の両方に適用されます。つまり、ポルノ画像などへのアクセス、閲覧、保存、送信や、差別、ハラスメント、報復に関わる行為、あるいは暴力による脅迫、ある

いは違法のギャンブル、売春、その他の違法行動への従事といった、当社の規範またはポリシーに違反するものに対しては、どのような時でもテラデータの資産を利用してはいけません。違反は解雇を含むそれ以下の懲戒につながります。

一般の人々へのリーチアウト

テラデータは、競争の激しい市場で操業しています。私たちは、お客様のニーズに応え、競争についていくため、常にイノベーションと改良を私たちの製品やソリューションで行わなければなりません。同様に大切なのは、私たちのブランドと原則の一貫性を示すため、私たちが高い行動基準を保ち、一般の人々とのやり取りで、いつも真正であることと真実であるようにすることです。

正確な記録を残すこと

私たち全員が、テラデータの帳簿や記録が完全で正確であることを保証する責任を負っています。主張、接待、贈り物の経費の払い戻し請求や支払、調達、請負業者や外注先の注文書、契約、作業明細書、エントリーと支払い、プロジェクトの財務と報告情報を含む、財務上の記載や記録の全ては、公正かつ正確に、真正の、性質・量・関連する実際の日付・関係性のあるパーティー・支出/取引またはプロジェクトの目的を反映していなければなりません

このことは、買収資金・賄賂、記録されていないプールされた金銭、あるいは権限付与されていない資産/権限付与されていない賄賂・キックバック・旅費・接待・贈り物・親切・個人的なアイテム・請求書の支払・割引・リベート・調達・請負業者・外注先・契約・仕事の指示・その他の不適切な目的、を定めたり使用してはならない、ということを意味しています。経費の報告、発注書、請求書、プロジェクト報告の方法/ツール、その他のテラデータの簿記や記録に、虚偽あるいは人造の記載をしてはなりません。

私たちは事業にとって最高の、もっとも効果的な決定を行うために、正確な情報を必要とします。顧客、社員、ビジネスパートナー、株主、政府当局に対する義務を果たし、責任を持つために、全事業に関して、完全で、公正で、正確で、時宜を得た帳簿や記録を残さねばなりません。事務処理正確な記録は、テラデータが財務上、条例上、また報告の義務を遂行するのに重要です。

全テラデータ社員はテラデータの帳簿や記録が正確であることを確かめる必要があります。私たちは、報告内容(労働時間、経費、その他すべての事業にかかわる活動の記録を含む)やすべての領収書やその他の関係書類および日付と情報が、改ざんされたもの、誤解を招くもの、偽造されたものではないことを保証する必要があります。記録や報告のファイリングは、遅れず、正確にせねばなりません。関連するポリシーを確認した後、それでも特定の支出が、正当な払い戻し/支払い可能な経費なのか、あるいは当社のポリシーで許可されているものなのか確信が持てない場合には、行動の前、払い戻し/支払いの請求を行う前に、直属のマネジャーあるいは社内の内容領域専門家(SME)に質問する必要があります。社員は責任を負っており、不当な報告あるいは払い戻し/支払いの請求を行った場合は懲戒の対象となります。

完全で適切な基礎となる文書がない場合は、オーダー認識や収益認識を含む帳簿の記載、取引や支払の処理を決して行ってはいけません。帳簿、記録、オーダー、契約、承認、インボイス、受理など収益認識および正当な会計処理と関連のある書類の改ざん、偽造、日付のごまかしは常に誤りであり容認されません。私たちは皆、会社の帳簿、記録、経理や法令による条件の遵守の正確さを確認する取り組みにおいて、財務管理の職員、収益認識保証の職員、内部あるいは外部の監査役に完全に協力せねばなりません。審査、監査、調査などへの協力を拒む、誤解を招くような情報の提供、あるいは積極的な妨害を行う場合は懲戒を受けます。

会社の記録が作成された後に適切に保持していくことも重要です。テラデータでは、記録保管制を導入しています。必要とされる期間記録を保持し、必要がなくなった際に破棄する方法について記述のあるポリシー（**企業財務および会計ポリシー（CFAP）111**）。どの記録をどれだけの期間保持する必要があるのかが不明な場合は、記録保持ポリシーを参照し、あなたの担当分野、あるいはあなたに対応している文書のタイプが記録保持スケジュールに当てはまっているかを確認してください。

また、実際の法的手続きあるいは行政調査が行われるとき、またはその恐れがあるときには、文書や記録に訴訟ホールドがかかる可能性があることを念頭に置いてください。法的手続きにおいては、テラデータは、関連した文書や記録を守る、あるいは作成することができないというリスクを負う事態になるのです。このような場合には、テラデータの法務部より連絡があります。訴訟ホールドがあなた、もしくはあなたが持っているあるいは管理する文書に及んだ場合、法的効力のある指示に従ってすべての関連する記録を保持せねばなりません。

不正行為への警戒

- はっきりとした正当な事業目的がないのに、おかしな時間にオフィスにいる。
- はっきりとした正当な事業目的がないのに、会社の記録あるいは自分の仕事の担当とは関連のない会社の記録に慎重にアクセスしたりコピーしたりしている。
- ライフスタイルが収入以上の暮らしぶりを反映している。
- 私的な面の安定性に欠ける。家庭や職場で精神的苦痛を経験している。家内企業による過度の、あるいは理不尽な経済的なあるいはライフスタイルにおける期待に遭っている。
- 常に体制を打破しようとしたり、製造プロセスの操作や不正アクセスをしようとしたり、越権行為をしようとしている。
- 不必要な仲介者/請負業者が利用されている；無資格、不適格、十分に検証されていない、仲介者/請負業者が利用されている；開示されている、仲介者や請負業者との個人的な関係やアレンジメントを持っている関係者。
- 請求書・発注書・作業明細書の記載や日付が、実際の事項/日付に実際に関与した/配達されたものと合致しない；1件の取引セットに対する請求書や発注書が、その他に必要な、より高いレベルの承認を得ずに済むために、複数の請求書や発注書に分割されている。
- テラデータの情報、資産、データを事前の承認なしに個人の電子メールアカウントに転送すること、テラデータの電子メールアカウントの代わりに個人の電子メールを使用すること。

ソーシャルメッセージ、IT、ネットワークシステム

ソーシャルネットワーキングやインターネットは重要なビジネスツールです。ソーシャルネットワーキングやインターネットは重要なビジネスツールです。職場での、あるいは会社のテクノロジーを使用してのインターネットやソーシャルネットワークの利用は当社の基本原則とに当社のポリシー従って行わねばなりません。業務時間内か業務終了後かに関わらず、テラデータの IT（設備、ソフトウェア、ネットワークリソース）あるいは顧客やビジネスパートナーの IT を利用して、攻撃的、性的、差別的、ハラスメント的、ポルノ的、違法、その他の不適切なデータや情報を集めたり配信したりしてはいけません。

E-mail、テキストメッセージ、インスタントメッセージ、ブログのコメント、ツイッター、ソーシャルネットワークサイトでのやり取り、ボイスメールなどは容易に転送、トレース、復元できるコミュニケーションの記録です。テラデータの IT システム、デバイス、ネットワークなどテラデータに関連したものを利用して、あるいはそれらを通じてやり取りされたすべてのメッセージは、会社のレターヘッドを利用して手紙を作成する際と同様の気づかいをもって作成されねばなりません。

E-mail、インスタントメッセージ、テキストメッセージ、ソーシャルネットワーク上の他の形のメッセージは他者からも見られるものであり、内外の調査の対象となったり法的要求により公開の対象となったりしうものであることを前提としてください。これらのリソースを使用したコミュニケーションやドキュメントの内容、またはテラデータに言及したり関与したりする内容に適用し、心に留めておくべき経験則として、「新聞ルール」があります。あなたのコミュニケーションが新聞の一面に掲載され、他の人が何の脈絡もなく読めるようになったとしたら、それはテラデータの基本原則と行動規範に合致していると受け止められるでしょうか？受け取られないとすれば、もう使用も、送信も、投稿もしないでください。

セキュリティや誠実さ、また当社の IT の事業目的を維持するため、また法令、プライバシー、義務、契約上の義務に従うためには、パスワードや ID コードを保護して、テラデータの顧客やビジネスパートナーの情報システムへの非承認アクセスを防ぐために必要な処置を取る必要があるのです。

テラデータには、テラデータのシステムおよびリソースの利用、ならびに社内のシステム上であるいはシステムを利用して送信や保存を行ったメッセージはいずれも内容を監視する権利があります。これにはユーザーによって消去された情報やテラデータのネットワークを使って送信された情報も含まれます。テラデータ、顧客、ビジネスパートナーなどのコンピューターあるいはネットワーク上で E-mail、インターネット、その他の電子コミュニケーションを利用した場合、(該当する法律による要求を超えては) プライバシーを期待することはできません。テラデータは、私たちひとりひとりがテラデータのリソースや顧客やビジネスパートナーのリソースの利用に適用する条件や制限を重んじることを期待し、要求しています。

ソーシャルメディアや従業員情報の守秘義務に関する制約は、いずれも法的に保護された共同行為に携わる従業員の権利を制限することを意図するものではなく、またそう解釈されるべきものではありません。

インサイダー取引

私たちは、テラデータと、テラデータが共に事業を行っているあるいは共に事業を行うつもり企業の企業について、他の人々は知らないかもしれない情報へのアクセスを通常行うことができます。この情報には、投資家の売買やその他社内のセキュリティに影響する可能性のある非公開情報が含まれるかもしれません(テラデータあるいは他社が関わる株式やオプション取引など)。例えば買収、分割、経営陣の変更、財務成績、財務予測などです。

インサイダー取引とは、テラデータ、顧客、ビジネスパートナー、あるいはテラデータと事業関係を結んでいる、または結ぶつもりのある他社に関する重要な非公開情報を保有していながら証券売買その他のトレードを行う違法行為です。インサイダー取引は、当社の規範のテラデータインサイダー取引ポリシー(企業経営ポリシー **CMP 922** および **CMP 922Q** を参照)と州および連邦政府の証券取引法に対する重大な違反であり、関わった個人は即時解雇や将来的な刑事訴追の対象となりえます。

「チッピング」(内部情報を外部へ漏えいすること)もまた当社のポリシーや規範、証券取引法の違反となり、同様の結果を招きます。チッピングは、例えうっかりでも、重要な非公開情報を誰かに提供し、その人物が情報に従って証券の売買その他のトレード行為を行ったときに起こります。私たちひとりひとりがテラデータ、顧客、ビジネスパートナー、あるいはテラデータが事業関係を結んでいる、または結ぶつもりのある他社に関する非公開情報を、家族や友人、その他の第三者に対して漏らさないように気を付けねばなりません。

テラデータのインサイダー取引ポリシーの下、一部の社員は制約のあるインサイダーであるとして、一定期間中は自動的に取引から「ブラックアウト(除外)」されます。内部情報を保有していながら、あるいは制約のあるインサイダーでありながら証券取引を行うことについて疑問あるいは懸念がある場合は、テラデータインサイダー取引ポリシーを参照してください。それでもまだ疑いが晴れない場合には、トレードを開始する前に法務部に連絡して、より詳しいガイダンスを得てください。

外部企業とのコミュニケーション

当社の評判を効果的に管理・保護するため、テラデータに関与、または関する報道各社とのコミュニケーションはすべてテラデータの広報部を通さねばなりません。同様に、召喚状や政府からの問い合わせおよび捜査依頼への対応はすべてテラデータの法務部を通さねばなりません。業績や財務成績の公開はすべてテラデータポリシー(CMP 110を参照)に基づいてテラデータ公開委員会が許可したときのみ、許可した方法に従って行われねばなりません。このことで、当社が伝え、もたらず情報が、一貫性があり、正確で、テラデータのポリシーや、公開に関する法令や条例の要件にしっかりと沿ったものになります。

政治的な貢献と慈善活動

テラデータの社員は、自らが選択した地域活動や政治活動に積極的に参加することが推奨されます。しかしながら、いかなる政治活動への参画も勤務時間以外で、かつ自らの所有する資産を用いて行われなければならない、またそれは事前にテラデータの公務部によって特別に許可された場合を除き、会社を代表することおよび会社と関連があることはありません。

法律及び規則が定める、法人による政治的貢献や政治活動は、テラデータがビジネスを行う多くの地域ごとに多様で複雑な場合があります。一般的な規則として、私たちはテラデータが選挙の候補者や政党、そしてある政治的な取り組みなどを支持していると受け取られるようなことは、事前にテラデータの公務部によって文章で承認を受けていない限り、一切行いません。その場合でも、許容される政治的活動は、テラデータの政治活動ポリシーステートメント(Political Activity Policy Statement)によって決定されます。<https://www.teradata.com/About-Us/Corporate-Governance/Political-Activity-Policy-Statement>.

会社として、我が社は、私たちの活動する地域のチャリティーや地域活動をサポートする取り組みや方針を採用しています。我が社でも、全社員に勤務時間内にチャリティーや地域貢献活動などのボランティア活動に従事することを紹介・推奨するプログラム(テラデータ・ケア)を持っています。このような目的に使われるテラデータの資産の量は、重点的に管理、実施されなければなりません。これは私たちが正しい道を進み、対立を避けるのに役立ちます。あなたが会社のリソースや会社の就業時間をチャリティーやコミュニティーのための目的に使っていることが、許可されるものか、あるいは適切なものであるかどうか疑問がある場合には、あなたの上司である管理職や、また人事部の代表者に事前に相談し、そのガイダンスに従ってください。

当社のコミットメントを高く掲げること

テラデータは献身的な個人で構成されるグローバルチームです。私たちは、私たちの専門分野で最高であろうとする献身を通して、お客様のビジネスおよびパートナーシップを獲得します。

私たちの名声を守るため、私たちは、ビジネスを操業しているコミュニティーの法に従い、コミュニティーの習慣や伝統を尊重しなければなりません。同時に、当社の規範やポリシーに違反するような行為には、仮にその行為が地域の法令によって認められていたとしても、決して従事してはいけません。

贈収賄・汚職に対するゼロ・トレランス(完全非容認)

私たちは、汚職や他の不正のない事業を展開します。世界中に存在するテラデータとその全ての人々とチームは、米連邦海外腐敗行為防止法(FCPA)、英贈収賄法、中国の贈賄禁止法、その他の国際的な要件を含む汚職防止、不正防止、マネーロンダリング防止などに関する法令の支配下にあります。これらの法とテラデータポリシーの下で、私たちはいかなる形の賄賂やリベートも申し出たり、渡したり、求めたり、受け取ったりしてはならず、第三者に対し、自分に代わってそのようなことをさせてもいけません。

贈賄は、不適切なビジネス上の利点を得るため、価値のある何かを贈与すること、贈与を申し出ること、あるいは贈与の約束をすることを意味します。賄賂は現金とは限りません。不適切な贈り物や接待、物やサービスを購入するための高額な支払いもまた賄賂と考えられます。リベートとはビジネスの手配に対して、すでに支払った合計金額の中から還元されるものを報酬として支払われるものです。

FCPA やその他の汚職防止や贈賄防止の法令に違反した結果は、支払いをした、あるいは受け取った個人と企業に対する罰金や実刑判決の可能性もある、大変厳しいものです。FCPA は特に(米国以外の)外国公務員との取引に適用されますが、テラデータはすべての商談取引において賄賂を禁止しています。米国内外の政府関係者との取引に適用される賄賂に対する同様の原則が、民間の顧客とビジネスパートナーとの取引にも適用されます。

反汚職および反贈賄の法に対する遵守を続けるため、価値あるものが公務員に対して提供される前に、特別なルールを遵守しなければなりません。顧客やテラデータのパートナーの中には、全体的または部分的に政府事業体が運営するものもあります。結果的に、ディレクター、マネジャー、従業員、請負業者、その他同事業の責任者が政府の職員であることが考えられます。こうした状況においては、よくある妥当な接待や贈り物は、適用されるコミュニティにおいて慣習的で合法な手段であれば、テラデータのポリシーを遵守しているという条件で、一般的に認められます。金銭のしきい値、事前の承認要件、その他の考慮事項についてのさらなる情報については、テラデータ贈り物と接待ポリシー(CMP 912)、下記の贈り物と接待に特化した規範のセクションを参照するか、または行動する前にテラデータ法務部に相談してください。

米国以外では、下級政府職員への円滑化を目的とした支払いは、地域の法令あるいはビジネス慣習の観点から認められている国もあります。円滑化を目的とした支払い(「グリース」支払いと呼ばれることもあります)は少額の支払いであり、一般的に現金で、書類作成や承認申請など役所的で単調な事務作業の効率を上げるために行われます。しかしながら、円滑化を目的とした支払いのどこからが贈賄になるのかを見極めるのは難しい問題です。あなたを守るため、また会社を守るためにも、テラデータは円滑化を目的とした支払いについてもすべて禁止しています。円滑化を目的とした支払いが求められた場合は、賄賂やリベートを求められた時と同様に、常に即座にテラデータの法務部まで報告してください。

テラデータのグローバル反汚職方針(CMP 904)では、贈賄、汚職、マネーロンダリングを一切認めないことを表明しています。テラデータ・ピープルは皆このポリシーを遵守せねばなりません。

テラデータは第三者の適切な注意義務に関する様々なプロセス、ツール、規制も採用しています。これらは適性を判断し、汚職への関与で知られた第三者と取引するのを避けることを目的としています。また、リスクが高く危険な第三者による取引が、適用されるすべての法的要件を遵守して、評価リスクを十分に考慮した上で実施されているという事実の確認に有用な、特別な分かりやすい予防策が取られていることを確かにくれます。全テラデータ・ピープルは以上のプロセスやツールを遵守せねばなりません。

汚職防止ガイドンス

質問:部分的に政府事業体が運営する米国以外の電気通信会社あるいは銀行の職員が、もしテラデータが以下のことを行うならば、保留中の取引機会においてテラデータを優遇すると言ったとします。その職員の息子を採用する。その職員の兄弟の会社の下請け契約を発注する。その職員の姪に利するよう奨学基金に寄付をする。正当ではない出張でその職員に家族が同行するための費用を賄うあなたはどうしたら良いでしょうか？

解答:要求を退け、即座に直属のマネジャーとテラデータの法務部に報告せねばなりません。あなたや直属のマネジャーはまた、即座にそのことをテラデータの倫理・コンプライアンスオフィスへも報告せねばなりません。米連邦海外腐敗行為防止法(FCPA)は、このシナリオに登場した電気通信会社や銀行などの米国以外の州政府が運営する会社の職員と取引する米国に拠点を置く企業やそのすべての世界中の子会社に適用します。そうした職員との事業において職員や家族の個人的な利益と引き換えに優遇措置を取引したり求めたり与えたりすることは、現金か現金に相当するものか現物支給(ここでは仕事、下請、奨学基金、家族に利する旅行など)に関わらず禁じられており、即座に報告されねばなりません。

輸出・輸入コンプライアンス

世界市場にハイテク企業として参画しているテラデータとしては、特に国際貿易や入国管理に関する法律や制限について知っておく必要があります。米国を含むほとんどの国には、製品やテクノロジーの輸出に関して厳しい規制があります。他国の人物に技術的な情報を伝えること(あるいは仮に一時的にあなたと同じ国に配置されている他国の市民や議員に伝えること)は、法律上は輸出と見なされる可能性があります。製品や技術が輸出されているかどうかということは、品目の性質、行き先の国、意図されたエンドユーズやエンドユーザーなど複数の要因によって決定されます。

輸出行為やそうした行為を規制する法律に関する詳しい情報は、当社の輸出コンプライアンスポリシー(CMP919)を参照するか、法務部まで連絡してください。

テラデータは適用すべきすべての輸入に関する法令も遵守せねばなりません。主としてこれらの法律では国内へ何を輸入することができるか、品物のマーク、分類や金額をどうすべきか、関税その他の税金がいくら掛かるのかなどについて管理しています。輸出入に関する規則に違反した場合の罰則は厳しい場合があります。テラデータの輸入手続きに関わる場合には、当社の輸入コンプライアンスポリシー(CMP917)を読んで理解しておいてください。輸入規制に関するガイダンスについては、あなたが所属する組織が指定する輸入コンプライアンス連絡係かテラデータの法務部に相談してください。

テラデータは私たちひとりひとりが適用すべきすべての輸出入規制法令を遵守することを求めています。当社はこうした法律や手続きに加え、貿易制限および制裁を遵守するとともに、贈賄や汚職のリスクを避け、また軽減する狙いで、第三者の適切な注意義務に関するツールや規制を採用しています。私たちは皆、当社の顧客が誰なのか、当社の製品が何に利用されるのか、製品の最終納品地はどこなのかを確実に理解する責任があります。

米国に拠点を置く企業として、当社にはある特定の国や個人、法人との貿易に制限が課されています。米国の貿易政策と矛盾する場合、特定の他国、集団、顧客によるボイコット、禁輸措置、その他の貿易制限を実施する試みに関連した行為も禁じられています(例えばイスラエルとの貿易を制限あるいは禁止しようとするなど)。当社が貿易を行ってよい個人や国に関してや、どのようなボイコットや禁輸行為が禁止されているのかに関して、当社は具体的なポリシー(CMP 903とCMP 919)およびリスト(例、禁止相手リスト)を保有しています。あなたの仕事に当てはまる可能性のある貿易や経済の制裁措置について質問がある場合は、法務部に相談してください。

贈り物と接待

贈り物とは、品物、サービス、旅行、宿泊、食事、接待など、贈り主が不在であっても、価値のあるあらゆるものが考えられます。贈り物の習慣は世界各地で多様です。ビジネスにおける贈り物や接待は、顧客やビジネスパートナーとよいビジネス関係を構築するための挨拶です。しかしながら、過剰であったり、贈り物が義務感を生み出す場合、あるいは事業上の決定に不当または不正な影響を与えることを意図した場合には、贈り物は不適切となります。

以下のような贈り物は一般的に許容されます。

- 金額がわずかである
- まれである
- 公然と提供された
- 求められていない
- 現金以外のもの、現金に等しいようなもの(例えば、ローン、株式、商品券といったようなもの)
- 独立したオブザーバーによって、適切とみなされるもの(例えば、成人向け性的志向の場所、サービス、エンターテインメントを提供したり、料金を支払ったりしてはならない)
- 他企業のポリシーを遵守しており、それが提供されている現地では合法である

テラデータのポリシー(CMP912)における贈り物の最大許容額の基準としては、贈り物が 100 米ドル、接待が 200 米ドルです。これより低い上限が、部署、地域、チームのルールまたは現地法によって適用される場合もあります(例えば政府の役人や、全面的にあるいは部分的に政府が所有する企業の代表者との調達や接待に関わる場合など)。

もしあなたが許可されていない、あるいはテラデータのポリシーで設定された金額を上回る贈り物や接待を申し出られた場合は、テラデータのポリシーによって受け取ることができない旨を礼儀正しく説明してください。そうした贈り物を断ることで、申し出た人物を困らせたり不快にさせてしまうという場合には、テラデータを代表してあなたが贈り物を受け取り、即座にマネジャーに報告してください。

あなたは他企業の行動規範とポリシーを常に尊重せねばなりません。贈り物や接待がテラデータのポリシーで許可されていても、受け取る側の規範またはポリシーによってそれが禁止されている場合には、贈り物を申し出てはいけません。断然覚えておくべき最も重要なことは、目的のビジネスについて受取人の意思決定を妥協させるような、または妥協させるように見える申し出、贈与、勧誘、あるいは受領をしてはならないということであり、また、贈り物や接待は、必ず、経営陣に対して透明であり、また、適切な会社の書類に正確に反映し、開示されているようにしなければならない、ということです。たとえ、あなたが自分自身の金銭や、またその他のリソースを使用して、贈り物や接待をお客様の代表者に提供することになっていたとしても、それでもこれらの要件を遵守しなければなりません。

顧客が政府の担当者である場合は、特に気を付けねばなりません。政府の職員の場合、少しでも価値のあるもの、例えば軽いランチや一杯のコーヒー、あるいは食事やテラデータのロゴが入ったプロモーショングッズなどの粗品ですら、受け取ることが法で禁じられている場合があります。

環境安全衛生コンプライアンス

優れた職場に向けた当社のコミットメントを踏まえ、テラデータは、事業を展開するコミュニティにおける適用すべきすべての環境安全衛生(EH&S)関連法令に従っています。私たちは、EH&S(環境安全衛生)ハンドブック、EH&Sポリシー、EH&S標準的な操作手順、義務的なEH&S報告事項等、ならびに全社員に対する義務的なEH&S研修システムを持っています。これらに関する情報は、内部での利用が可能です(CMP 601を参照してください)。また、その多くは [Teradata.com](https://www.teradata.com) で公開されています。

社会的責任

私たちはまた、積極的な環境持続性、人権、当社製品に含まれる危険物に対処する規則への遵守を含む、その他の関連した企業の社会的責任の取り組みとして、以下のことを行っています。電子機器廃棄物のリサイクル、可能な限り排出量を削減する努力、製品規格、紛争鉱物や人権へのコミットメント、サプライヤーの行動規範の遵守、および RBA (Responsible Business Alliance: 責任ある企業同盟、旧 EICC (電子工業市民権連合)) の行動規範ならびに国連 (UN) グローバルコンパクトの原則の当社事業への組み込み。これらのプログラムやその他のプログラムに関する情報は、<https://www.teradata.com/About-Us/Corporate-Social-Responsibility> で公開されています。

疑問がある場合、あるいは自分が安全でない状態にあるということや、EH&Sの法令、ポリシー、標準実施要領、または当社の持続可能性、人権、企業の社会的責任に違反している可能性に気付いた場合は、即座にマネジャー、ファシリティアマネジャー、法務部あるいは倫理・コンプライアンスオフィスに報告してください。

人権

テラデータは、以下に記された、国連グローバル・コンパクトの 10 原則に従います。

- 原則 1: 企業は、国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重すべきである
- 原則 2: 企業は、自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである

労働

- 原則 3: 企業は、組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持すべきである
- 原則 4: 企業は、あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持すべきである
- 原則 5: 企業は、児童労働の実効的な廃止を支持すべきである
- 原則 6: 企業は、雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである

環境

- 原則 7: 企業は、環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持すべきである
- 原則 8: 企業は、環境に関するより大きな責任を率先して引き受けるべきである
- 原則 9: 企業は、環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである

汚職防止

- 原則 10: 企業は、強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである

イノベーションの追求

私たちは皆、テラデータの所有者情報を管理するための規則に協力して従う必要があります。私たちの、個人としての、また、会社としての、将来的な達成は、私たちの蓄積されたアセット、知識、トレーニングという基盤の上に築かれています。テラデータの知的財産権を守ることは、本質的に大切なことです。私たちはまた、他者の知的財産権を理解し、尊重しなければならず、また、これらの権利を、意図的であれ、また意図的ではなくとも、侵害してはいけません。

機密情報

情報はテラデータの重要な資産です。情報とは、知的財産その他の保護された情報を含みます。例えば以下のようなものです。

- 企業秘密、その他の機密情報、特許、商標、著作権
- 発明、特許出願、技術記録などを含む研究開発
- ネットワーク管理情報
- ビジネス、マーケティング、サービス計画
- 顧客および潜在顧客の個人情報
- 価格設定やその他の見積もり、提案書、契約条項
- 合併買収候補

- 未発表の財務計画、データ、報告書、予測
- テラデータ認定プロフェッショナルプログラム(TCPP)の試験やテスト資料
- 文書化された非開示契約あるいは秘密保持契約を対象とした情報

相互連携する当社の職場においては、情報共有が必要な一方、私たち全員がテラデータに所属する情報を保護し、承認を受けていない者の目に晒さないようにして、情報が確実にテラデータの正規のビジネス目的にのみ利用されるようにする必要があります。また、顧客やビジネスパートナーなど、私たちが取引を行う企業に所属する機密情報も、未承認の開示や利用から保護せねばなりません。

また、当社の仕事の過程で、社員の中には、同僚、顧客、ビジネスパートナーなどによりテラデータに委ねられた個人情報(例えばプライバシー法で保護されている情報)へのアクセス権を持つ者もいます。職務によってそのような種類の情報へのアクセス権を得たときには、注意や敬意を払い、すべての法的要件に従って確実に情報を扱うよう、すべての合理的な予防策を取らねばなりません。利用目的は正規のビジネスのみ、また職務遂行のための必要最低限のアクセスのみに限ってください。この情報は同僚であっても共有できず、適切な承認なしには国外へ送ることもできません。機密情報や個人情報を含むすべての文書やメールには「**テラデータ機密情報**」というラベルを貼る措置を取ってください。

機密情報は必ず印が付いているとは限らないため、利用や開示が適切かどうか迷う場合には、情報を利用または開示する前に、情報保護に関して適用すべきテラデータポリシー(CMP 1402 や CMP 204 など)を参照し、マネジャーあるいはテラデータの法務部に確認してください。

第三者知的財産権

テラデータは、ベンダー、サプライヤー、競合他社の知的財産を尊重し、また、他のパーティーがテラデータの知的財産を尊重することを期待しています。テラデータの社員のそれぞれは、正当にライセンスを取得したソフトウェアやその他の知的財産を使用しなければなりません。当社の社員は、テラデータの調達部ないし IT チームに知らせず、あるいはその承認なしに、ソフトウェアやその他の知的財産をダウンロードしてはいけません。例えば、Microsoft® PowerPoint® あるいはその他のプレゼンテーションといったような、テラデータで制作した資料に、ストックフォト、音楽、オープンソースコードやテキストを使用することは、当社をリスクに晒す可能性があることを自覚している必要があります。プレゼンテーションやその他のメディアに組み込む前に、テラデータやそのベンダーが適切なライセンスや、そうした素材を使用する権利を持っていることを確認しなければなりません。

私たちは、テラデータの知的財産と関連して、無料で手に入れることができるオープンソースのコンピューターコードを使うことがありますしかしライセンスの期間において、関連する(あるいはまったく関係すらない)テラデータの知的財産であるオープンソースのコンピューターコードの一部が、パブリックドメインとして公開される可能性を含んでいるのです。これは、仮にオープンソースのコンピューターコードが私たちの商品に特定の方法で埋め込まれていたり、誤用を防ぐために定められた所定の要件を満たさない形で使われたりしている場合において、とりわけ注意の必要なことです。

テラデータは知的財産およびオープンソースコンテンツにおける方針、実例および手続きを採用および適用する。このような活動に関わる社員はこれらを熟知し、かつ遵守しなければならない。知的財産またはオープンソースコンテンツについて質問がある場合は、直属のマネジャーまたはテラデータの法務部に問い合わせてください。

テラデータ認定プロフェッショナルプログラム

当社はプロフェッショナルとしての認定を獲得するのに必要なリソースを提供してくれます。認定試験に向けた学習を始めたり、またいかなる試験を受けたりする前には、必ず TCPP セキュリティポリシーについて、熟読し理解しておかねばなりません。認定試験の内容は(質問および回答選択肢のいずれも)テラデータの知財の一部であり、いかなる場合でも第三者と共有したり議論したりしてはいけません。個人または法人が私たちの所有する素材をコピー、配布、投稿、受信、ダウンロード、購入、そして販売することは法律で禁じられており、かつテラデータの権利および方針に反するものです。社員はいかなる場合もこのような活動に関わってはいけません。このような資料を目にする機会があった場合、TCPP セキュリティに報告してください(TCPP.Security@teradata.com 宛に E メールしてください)。

データ保護

テラデータは顧客からの信頼と尊敬を獲得した企業として高い評価を得ています。私たちは、個人情報を含むデータの機密情報、整合性、利用可能性などを保護して、勝ち得た信頼や尊敬を維持し続けなければなりません。私たちひとりひとりが機密データの処理や取扱いに関する一連の関連手続きに従わねばなりません。例えば

- 正当なテラデータの事業目的および関連する期間のために、許可を受けた者のみアクセスできること(例:法的、合理的観点から必要最低限のテラデータの社員およびビジネスパートナーなど)
- パスワードや、パスワードでアクセスできるテクノロジーを厳重に守ること
- 未確認あるいは未認証者がデータ、ファンド、承認へのアクセスを試みるときに即座に役立つ、プリテキストングやフィッシングなどという試みに対する衝動を抑えること
- 当社のデータ管理ポリシーと情報保護基準に従って、あるいは遵守して、慎重なバックアップを行うこと
- テラデータまたはその顧客の機密データを個人の電子メール/デバイスに送信しないこと

データセキュリティの問題、違反または侵害に気が付いた場合は、何らかの損傷がそれ以上広がらないように対応し、適用法令あるいは契約の定めに従って届を出すか情報を公開して、その他のデータやプライバシー保護の法令に従う措置をできるだけ迅速に、完全に講じられるよう、どんなに些細なものでもテラデータと顧客に対し即座に報告する義務があります。データセキュリティの侵害を無視するという事は許されません。

私たちは皆、グローバルプライバシーポリシー(<https://www.teradata.com/Privacy>)の規定を読み、理解し、遵守せねばなりません。

業界のトップにのぼること

テラデータでは、私たちは積極的に競争をします。しかし、それは公正に行います。そして正しい姿勢で競争します。私たちは、公正な競争のための規則やベストプラクティスに従います。私たちは、全てのマーケットセグメントにおいて、ワールドクラスで、かつ最高クラスであることを目指して努力します。同時に、私たちは、個人としても会社としても誠実さが私たちのミッションの基盤であることを忘れてはいけません。

公正に競う

テラデータは、どこで活動しようとも、価値、革新と製品の品質、サービス、人々、そしてビジネス上のパートナーに基づいて成功することをお約束します。私たちは、反トラスト法または公正競争法を含む、競争や企業のグローバル展開の自由化を保護するための法令を遵守します。

公正競争法の元で、私たちは競争を制限しようとするいかなる競合相手とも協定を結ぶことはいたしません。不正協定は必ずしもサインされた契約書であるとは限りません。場合によっては競合間の口頭での約束のようなシンプルな事もあります。競合間におけるいかなる調整や談合も深刻であり、あなたとテラデータを危険にさらします。

競合相手と対話をする場合は、絶対に以下のような内容について提案したり、話し合ったり、指摘したりしてはいけません。

- 商圏の分配
- 顧客の分配
- 顧客に固定または一定の金額を請求すること
- サプライヤーに固定または一定の金額を支払うこと
- 同じまたは類似した割引価格、販売期間、販売条件を提供すること
- 下請けの再販業者の要求固定または一定の再販価格の請求
- 特定の顧客やサプライヤーをボイコットすること
- 特定の入札を誰が落札するかについての合意

競合相手との会話の中でもし次のような話題が持ち上がった時は、あなたは直ちに会話を中断し、可能な限り分かりやすく拒絶の意志を伝え、即座にテラデータの法務部へ報告してください。

業界団体や展示会に参加する

業界団体、会議や展示会は関係づくりやビジネスの発展のチャンスとしても素晴らしいものですが、同時に法的や倫理的な問題に直面する可能性もはらんでいます。こうしたイベントに参加する場合は、不正な談合の持ちかけなどを受けないようにも、十分注意を払ってください。もしあなたが公式非公式を問わず、このようなイベントにおいて競合との間で行われる反競争に関わる話し合いに気がついた場合、その場を離れて法務部に連絡を取ってください。

顧客と公正な関係を保つ

テラデータは最上級の顧客貢献とサービスで知られています。この評判を維持するためにも、私たちはお客様と公正な関係を保つ必要があります。

一般的には、公正競争法によってテラデータは取引先の会社を選択することが認められています。しかし、これらの決定は案件ごとに個別になされるべきであり、また競合他社との間に合意や談合が行われては決してなりません。

顧客と公正な関係を保ち、かつ競争法や公正取引法に抵触しないための活動の一環として、私たちは次の事項を決して行いません。

- 私たちの競合商品やサービスに関して、誤った、根拠のない、または誤解を招く内容を発信したり、または誤った、根拠のない自社商品、サービスとの比較を行うこと
- 守ることができない、またはそのつもりもない公約や約束をあなたもしくはテラデータが行う事

- 価格が明らかに異なる類似する商品を、類似する条件で、かつ同一地域で同一期間に同一の販売量でそれらと比較することができる同じ顧客に対して販売すること競合の顧客に対して明白に偏りのある価格提示をし、商品やサービスの客観的な違い、販売時期、販売地域、期間、販売量などに基づいてそれが正当化されない場合、またはそれに近い状態にある時、反競争な価格設定の違反として、違法となる場合があります。

顧客の対応方法に関して質問がある場合、自分で行動する前に法務部に指示を仰いでください。

市場支配力を乱用しない

公正競争法は、市場支配力を持つ会社が、革新や競争をさせないようにすることも禁じています。市場支配力の乱用を防ぐため、私たちは以下項目をについて避けなければなりません。

- 自社商品及びサービスの原価割れ販売競合を市場から排除する目的での価格設定
- 特定の商品及びサービスの購入を限定して商品の追加購入を要求すること
- 法務部の事前許可なしに、相手が私たちの製品を購入することを約束した場合に、私たちが相手の製品を購入することを約束するという顧客との互惠取引を行うこと
- 法務部の事前許可なしに、排他的取引の(独占的な)手配を行うこと

ビジネス・インテリジェンス

競合他社の活動に関する正確な情報を得ることは必要であり、あなたの仕事の一部です。このような情報は、倫理的に、正規の情報源から得るようにします。これには一般的に入手可能な文書、アナリスト、出版物、インターネットなどを含みます。

しかしながら、不正な方法で情報を得ることによって競合優位性を得てはいけません。贈賄、スパイ行為、なりすまし、その他の不法あるいは倫理に反する行為など、いかなる手段によっても機密企業情報や企業秘密を盗んではいけません。すなわち、ひとつには、誰かに彼らが他社と結んだ秘密保持契約に違反する情報を共有するよう頼んだり唆したりしてはいけません。機密情報が未承諾で送られてきた場合は、直ちにテラデータの法務部に連絡してください。

テラデータは公正に、積極的かつ合法的に競争を行います。あなたがテラデータの競合他社の元社員である場合は、現在のテラデータにおける職務と関連のあるあなたの元の従業員向け機密情報または企業秘密を開示または利用してはいけません。同僚やマネジャーからそうした情報の共有を求められた場合も、応じてはいけません。

倫理・コンプライアンスの連絡先およびリソース

テラデータ倫理ヘルプライン

電話: 24 時間フリーダイヤル **866-455-0993** (米国以外では AT&T ダイレクトのフリーダイヤルを利用)、オンライン: **www.integrity-helpline.com/tdhelp.jsp** あなたは違反の疑いに関する誠意ある報告や倫理とコンプライアンスに関する懸念や疑問を表明することができます。複数の言語が対応可能です。法規制がない場合には、あなたが望めば、報復の恐れがないよう、匿名で内密に行うこともできます。

テラデータ倫理 E-mail 受信箱

メールアドレス: **E&C@teradata.com** あなたは違反の疑いに関する誠意ある報告や倫理とコンプライアンスに関する懸念や疑問を表明することができます。あなたが望めば、報復の恐れがないよう、匿名で内密に行うこともできます。

テラデータ法務部

電子メールの場合、Molly Treese (molly.treese@teradata.com) またはテラデータ法務チームの他のメンバーまでご連絡ください。テラデータの従業員は、Law Hub (<https://teradata.sharepoint.com/sites/LawHub/SitePages/The-Law-Team.aspx>) で法務チームの連絡先一覧をご覧ください。

テラデータ認証プロフェッショナルプログラム

違法あるいは問題のある教材や、疑わしい試験行為、認定タイトルの表現、ロゴ使用などに関する質問の問い合わせ先メールアドレス: TCPP.Security@teradata.com

テラデータ内部監査

財務上の不正行為に関する問題の問い合わせ先

電話: 678-577-5852、メールアドレス: michael.diloreti@teradata.com、郵便: 11695 Johns Creek Parkway, 4th Floor, Johns Creek, Georgia (USA) 30097

テラデータコーポレートおよび IT セキュリティ

物理的なセキュリティや盗難に関する問題については、グローバルテラデータコーポレートセキュリティ (Teradata.SAFE@teradata.com) に連絡してください。

テラデータグローバルポリシー

テラデータの従業員は、当社のグローバルポリシーウェブサイト (<https://teradata.sharepoint.com/teams/policy>) にアクセスすることができ、そこには規範で言及されている各ポリシーが掲載されています。

Teradata.com およびその他のオンラインリソース

Teradata.com では、テラデータのコーポレートガバナンスの方針と実践 ([Teradata.com/About-Us/Corporate-Governance](https://teradata.com/About-Us/Corporate-Governance) を参照)、およびテラデータのその他の企業の社会的責任と持続可能性の方針、実践、および取り組み ([Teradata.com/About-Us/Corporate-Social-Responsibility](https://teradata.com/About-Us/Corporate-Social-Responsibility) を参照) に関する情報を提供しています。また、テラデータの従業員は、当社の倫理・コンプライアンス Sharepoint サイト (<https://teradata.sharepoint.com/teams/EthicsandCompliance>) にアクセスすることができます。このサイトには、規範で取り上げられている各トピックに関する参照ガイド、トレーニングビデオ、およびその他の情報が含まれています。

17095 Via Del Campo, San Diego, CA 92127 Teradata.com

Teradata およびテラデータのロゴは、アメリカ合衆国および世界各国におけるテラデータ・コーポレーションや子会社の登録商標です。テラデータは新しい技術や構成要素が利用可能になり次第、継続的に製品を改善します。ゆえにテラデータは事前通知なしに仕様を変更できる権利を有します。ここに記述されたすべての特徴、機能、操作が世界の地域によっては販売されないことがあります。より詳しい情報については、テラデータ代理店に相談するか、Teradata.com を参照してください。ゆえにテラデータは事前通知なしに仕様を変更できる権利を有します。

© 2023 Teradata Corporation All Rights Reserved. 無断複写・複製・転載を禁じます。 01.21